



奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

発行日 2022年8月2日

2022-2023/4

Vol.44

No. 2018

2022-23年度会長スローガン
「原点回帰と新たなチャレンジ」

2022-23年度 RIテーマ



イマジン
ロータリー

RI会長 ジェニファー・ジョーンズ

地区スローガン

「感動、感激、そして感謝」

RI第2650地区ガバナー

尾賀 康裕

- 創立 立：1979年1月23日
- 例会 会：毎週火曜日 17:30～18:30
- 例会 場：奈良ホテル本館
奈良市高畑町1096番地 電話 (0742) 26-3300
- 事務所 所：奈良市大宮町6丁目3-7 中室ビル3F
電話 (0742) 33-8583 FAX (0742) 33-8600
hp : <http://www.naraomiya-rc.jp>
E-mail : info@naraomiya-rc.jp
- 会長：谷川 千代則 ■副会長：堀内 眞治 ■幹事：野崎 隆男

ガバナー公式訪問 奈良東RC合同例会



尾賀ガバナーご入場



開会宣言
奈良大宮RC 野崎幹事

例会プログラム

第5回8月2日
通算2019回

1. 挨拶
2. 開会点鐘
3. ソング
4. お客様紹介
5. ビジター紹介
6. 会長挨拶
7. 例会状況報告
8. 委員会報告
9. 幹事報告
10. 卓話
11. お礼の言葉
12. 閉会点鐘

本日のお客様

- ・国際ロータリー第2650地区ガバナー 尾賀 康裕 様
- ・国際ロータリー第2650地区ガバナー補佐 武藤 廣茂 様
- ・国際ロータリー第2650地区幹事長 田中 勝 様

例会状況報告

7月26日
通算2018回

- ◎本日出席者 66名
- ◎本日出席率 88.52%

7月12日
通算2016回の修正

- ◎出席率 100%
- ◎補填前欠席者 9名
- ◎欠席補填者 9名

会長の挨拶

【谷川会長】



皆さまこんばんは。本日は尾賀ガバナーをお迎えして、奈良東ロータリークラブとの合同公式訪問でございます。武藤ガバナー補佐が会長年度に初めて奈良東ロータリークラブさんと合同での公式訪問を開催しました。当時私は幹事を担当しており、奈良東の浦島会長も幹事をなさっております。初めてのことで浦島会長からいろいろ教えていただき開催したのを思い出しながらご縁をかんじております。ガバナー公式訪問は国際ロータリークラブ会長の考えや、地区の目標、行動計画や最新情報を直接ガバナーからお聞きできる貴重な機会であります。皆さまよろしく願います。新型コロナがまた全国で急速に感染が拡大しております。奈良県でも1日の感染者数が2000人を超えるなど厳しい状況となっております。せっかくの合同開催ですが本日も食事は黙食で会話時はマスク着用で願います。

例会前に尾賀ガバナーと奈良大宮役員の懇談会を開催いたしました。先日のクラブ協議会をふまえて奉仕事業・会員増強・広報等についていろいろご指導いただきよい懇談会ができました。奈良東さんは例会終了後に開催されます。7月24日日曜日に地区の第1回職業奉仕担当者研修会が開催されました。ハイブリッド形式での開催でしたが、私と宮坂職業奉仕委員長がリアルで出席いたしました。昨年度野末職業奉仕委員長がクラブでも卓話していただいた4つのテストの真実についてももう一度きかせていただきました。野末委員長のお話も大変わかりやすかったです。今回もわかりやすく半年たちまた改めて他の方から聞きよく理解できました。地区委員長から昨年度の振り返りと今年度の事業について説明がありました。ハイブリッド開催の利点として会場までいかななくても参加できることがあります。これまで地区の研修会は委員長の出席を当たり前にしておりましたが、今後は受け入れの状況にもよりますが、委員のかたにも積極的に出席していただき、ロータリーについて学ぶ機会や地区の活動状況を知る機会になればいいかなと感じました。

委員会報告



【クラブ職業奉仕担当者研修会について】
宮坂職業奉仕委員長

7/24(日)京都にて職業奉仕担当者研修会に参加してまいりました。今回はハイブリッドの開催でした。「四つのテストの真実」の研修の参加で、職業奉仕の入口にたどり着いたのではないかと思います。地区での色んな行事に、入会間もない方に参加していただいて、職業奉仕の理解を深めていただけたら幸いです。

幹事報告

状差し

- ・2022-2023国際ロータリー第2650地区2730地区合同インターアクト講演会の件
- ・ロータリー希望の風奨学金 風の便り
- ・地区大会記念誌

ガバナー紹介 (奈良大宮RC 谷川会長)



それでは尾賀康裕（おがやすひろ）ガバナーのプロフィールをご紹介します。

1955年3月4日のお生まれで、1977年3月神戸大学経営学部をご卒業されておられます。

1977年4月トヨタ自動車株式会社に入社され、1982年家業であります尾賀亀の取締役就任され、2000年代表取締役社長に就任、現在は取締役会長であります。

なお、所属クラブは近江八幡ロータリークラブで職業分類は石油製品販売でございます。

2004年7月近江八幡ロータリークラブに入会され、2018～2019年度は会長をつとめられておられます。また、地元滋賀県におかれましては近江八幡商工会議所会頭をはじめ多くの公職を歴任なさっております。それでは尾賀ガバナーよろしくお願いいたします。

尾賀康裕ガバナーアドレス



大変ご丁寧な紹介をいただきました。私は本年2022-23年度国際ロータリー2650地区ガバナーをさせていただくこととなりました尾賀康裕と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

先ほどは奈良大宮ロータリークラブの谷川会長をはじめ、北河原パストガバナーご同席のもと、武藤ガバナー補佐のご指導のなかで1時間ほど有意義で、たいへん和気藹々としたなかでいろんな意見交換をさせていただきました。そこでは谷川会長の思いがひしひしと伝わりました。この後また奈良東ロータリークラブの浦島会長をはじめ役員の方々と懇談させていただくということで大変に楽しみにしております。今回の公式訪問は21回目でございます。7月4日の京都西ロータリークラブをかわきりに訪問させていただいておりますけれども、奈良に足を運ばしていただいたのはこの例会が初めてでございます。21回目にして奈良が始まったということです。

私は遅刻するといけませんので、ほとんど公共交通機関を利用いたしておりますが、今日も近鉄の奈良駅を出て、こちらへ向かう途中、今日は天気がよろしくて芝生の中に鹿さんが彼方こちらに点在してほんとに長閑な景色で、「奈良に来たんだなあ」という思いを強く感じました。滋賀県にも当然に鹿はおります。

私はキャンプが好きでして、ちょっと山の方のキャンプ場に行くと夜中に「ヒュッ、ヒュッ」と音がするのです。最初はあの音は何だろうと思っておりましたら鹿の鳴き声なのですね。それを発見したのですが、鹿ってそういう変わった「ヒュッ、ヒュッ」という声で鳴くのです。その時ふと「奈良の鹿も同じような声で鳴くのかなあ」と思いまして、それはそうでしょうね、同じ鹿ですから。奈良では違う声で鳴くということはないでしょう。

私は先ほどご紹介いただいたように石油屋でして滋賀県でガソリンスタンドを営んでいるのですが、それ以外に砂糖とか小麦粉とか雑穀ですね、少し歴史がある会社なのでそれらも商っているのですが、奈良ロータリークラブに増尾さんっていう方がいらっしゃるのですが、皆さんご存知でしょうか。奈良自動車学校とかを営んでいるのですが、奈良ロータリークラブの方で同じ職業なのです。系列も同じでよくお付き合いさせていただいているのですが、同じように小麦粉とか雑穀を扱っていらっしゃるのですが、それで、コロナ禍で鹿が痩せたというのです。観光客がいらっしゃらないので鹿せんべいが売れないと聞きました。確かに鹿せんべいを作っているところと小売店を納めさせていただいている業者さんが売れなかったとおっしゃっていました。ですからこのコロナ禍というのは我々も甚大な影響を受けておりますけれども鹿も大変だなと、そういうように感じた次第であります。

本題に入らせていただきますけれども、今日、訪問させていただいたのは、私も国際ロータリーの役員の方でありまして、公式訪問を通じて本年度のRIのテーマ、方針、目標について皆様方にお話をさせていただいてご理解を深めさせていただくというのが役目でございます。あわせて私の2650地区の方針についても少し述べさせていただこうと考えております。「なにかに書いてあるやん」と言われたらそれまでですけども少し分かり易くかみ砕いてお話させていただきたいと存じますので退屈かも知れませんが我慢してお聞きいただきたいと思います。先ずですね、RIのテーマ。ジェニファー E. ジョーンズさんという方のテーマですけども、このジェニファー E. ジョーンズさんはロータリー設立117年目にして初めての女性の会長で、随分と前から「女性で会長になれるのならこの方だろう」というくらい囑望されたエースが出てきたという形であります。本来であれば国際協議会ではフロリダの方に行ってジョーンズさんに会ってご挨拶させていただくところが、残念ながらコロナ過のため完全バーチャルで画面を通してでしかお話をうかがうことができず、なおかつ殆どがビデオ撮りだったので少々残念な国際協議会ではありましたが、そこでいろいろとお話を受け賜りましたので、その話をしたいと思います。

概ねは地区の資料に掲載されていますので、それを説明するのではなくテーマについてお話しします。テーマは『イマジンロータリー』イマジンロータリーです。ロータリーを想像しましょうということですね。物事を起こすには漫然と起こすことは少なく、何かこういうような理想の姿、今ある形から理想の姿を想像して、そして現状をみてそのギャップを埋めようとするのが一つの行動のパターンです。つまりこういう世界、こういう形を未来の目標にする。したがって今あるところからバックキャストして順番に何をしていけば良いかを考える。これがイマジンの原点であります。ではイマジンロータリーとは「何をイマジンするのですか」ということですが、いろんな考えはありますけれども私的に考えますと「ロータリーの7つの重点目標を達成された社会を世界のロータリアン全員でイマジンしましょう」ということではないかと思っております。7つの重点目標。一つ目は戦争や紛争が全くこの世の中から無くなる世界。これをイマジンしましょうということ。人類が何千年の歴史で紛争や戦争が無かった時代は一つもなかったと思っております。世界中どこもが平和で皆がニコニコ豊かで生きているという時代はなかったと思っております。今も残念ながらウクライナとロシアが紛争を起こして大変なことになっております。そのようなことが一切ない世界をイマジンしましょうということ。二つ目は疫病で苦しむ人がどこにもいない世界をイマジンしましょうということ。風邪をひくとか、お腹が痛いとかいうことではなく命に係わる病気、そういうことで苦しんでおられる方がどこにもいない世界をイマジンしましょうということ。現在はこういった死に至る病気はほとんど克服されています。昔、結核は不治の病でしたし、癌になれば「これはあかん」ということでしたが、それすらも克服しようとしています。コロナはありますが、これは直ぐに死に至る病気ではありませんが、死に至るような風土病。そういうものがまん延している状態をなくそうということ。例えばフィリピンのある地域の子供に「君の将来の夢はなんですか？」と聞いたら「大人まで生きていること」と言ったらいいです。当たり前ですが彼らにはそうではない。そのような世界を一切なくそうではありませんか。その世界をイマジンしましょうということが二つ目です。三つ目は誰もが綺麗で安全な水を飲める世界をイマジンしましょうということ。日本では安全で綺麗な水など当たり前。「ちょっと水くまれる？」といえども本当に美味しい水が出てきます。コンビニで100円出すと美味しい水が買えます。水道の水でよければ公園に行けば無料で飲めます。ところが世界ではそんな水が全く近くにない、そういう地域がたくさんあります。なんか泥水のような水を何キロも先から採ってきて、それを瓶の中に入れて頭の上に乗せてやっと家庭に持ち帰る。

それも子供の仕事。そういう世界がいっぱいあります。おかげで子供は残念ながら学校には行けません。子供が労働力に使われてしまう。そんな水のために子供たちが犠牲になるようなことはなく、誰もが直ぐに安全な水を飲める世界、それをイマジンします。四つ目は安心して赤ちゃんを育てられる世界をイマジンしましょうということ。安全で安心して赤ちゃんを産み育てられる世界なんて当たり前、「子は将来の宝や」と言うけれども、それは日本だから言えることで、世界では子供が子供を産んでいるような、母子ともに子供が産まれたら危ないといった所がいっぱいあるのです。やっと産んでくれたけれども飲んでいない水が、「何を飲んでいないの?」、「そんなものでミルクが飲めるの?」というような水で乳幼児が育てられている世界もいっぱいあります。そんな世界はなくしましょう。皆がどこに行っても安心してお父さんお母さんが赤ちゃんを産み育てられる世界をイマジンしましょう。

五つ目はそれに関連しますけれども子供たちすべてが平等に教育を受けられて誰もが字の読み書きができる、そんな世界をイメージしましょう。この9月は識字月間であります。日本であれば100%と言っていいくらい読み書きができますが、世界では全く字が読めない人がまだ多いです。そのような方が7億人いらっしゃるともいわれています。そういう方がすべからず教育を平等に受けられて字が読める、字が書けるという世界。そういう事を想像しましょう。六番目はそのような元凶となります貧困。そのような貧困がなくなると、皆が適度な経済発展をしている、そんな世界をイメージしましょう。最後に七番目ですが、今までロータリーには6つの重点項目しかなかったわけですが7つ目の重点目標として掲げられたのは環境であります。自然と人間が共生できる世界をイメージしましょう。この達成はなかなか簡単ではない。むしろ夢みたいな世界かも知れませんが、そういった夢のようなこの7つの重点目標が達成された社会をイメージして、それに向けて少しでも、今我々は何ができるかを考え、それを奉仕事業に展開してくださいというのがジェニファー E. ジョーンズさんが掲げられたテーマ『イメージロータリー』であります。どうか皆さま方もいろんな事業を展開される際に、事業のみならず、ロータリーのみならず、お仕事をされる際にもこの7つの重点目標が達成されるような世界をイメージしていただいて、それで自分が何に関われるかということをお考えいただいて日常の職業にも関わっていただきたいと思うわけであります。

では「具体的には何をしろとRIは言うのですか？」ということで、こちらは目標がありますけれども簡単にポイントを4つにまとめてみました。一つはポリオであります。ポリオの根絶。ポリオというと、「もういいでしょ」「もう日本にポリオに罹っている人はいない」「もっとややこしい病気があるだろう」と、例えばコロナに然り「風土病はもっとあるでしょう」、「ロータリーもいい加減にそっちに目を向けてもうポリオは卒業しませんか」という方もいらっしゃいます。確かにそれも一理ありますが、ポリオは消えていないのです。根絶できていないのです。99.9%までは行っているのですけれども、まだいるのです。アフガニスタンやパキスタンなどにいるのです。これをやっつけないことには根絶とは言えない。ここまで追い込んだのはロータリーです。ロータリーが99.9%まで追い込んだなかで、そこで手を引いたら再び20年後には日本の子供たちがポリオに侵されるような事態がくると思います。ここで最後の一息ですね。水は100度になったら沸騰しますが99.9度ではまだ沸騰しない。もう一押しエネルギーを打ち込むことによって100度になります。先ほど申し上げたように、「もうええやん」、「日本にポリオは無いやん」と言いますが、それでも必ずポリオのワクチンは政府が100億ほど出して四種混合で全国の幼児に打っているのです。だからポリオがないのです。先進国でもポリオを放ってないのです。ワクチンを打っているからポリオが発生していないだけなのです。根絶すればそのワクチンの必要が無くなるわけです。世界のこれまでの歴史の中で、疫病根絶した二つ目になります、一つ目は天然痘。もう一つがこのポリオになるのです。ですからこのポリオについては、「またか」とおっしゃらずに、どんな小さなことでも結構です。地域の方にロータリアンがポリオをちゃんと意識して無くすために何かしよう、何かを皆さんに訴え掛けようということをお願いしたいと思います。そして二つ目は公共イメージのアップです。先ほどの懇談会で、「どうもロータリーを知っている人が少ない」、ロータリーは懸命にいろんな事業をしているけれども「ロータリーって何ですか？」という人が非常に多いという話題がでました。事実そうなのです。神戸のある会でアンケート調査をした結果を聞きました。神戸の方1000人に聞きました。「よく知っている」、「聞いたことがある」、「あまり知らない」、「全く知らない」という4つのカテゴリーに分けて、1000人のうち男性はたった15%、女性にいたっては8%しか「よく知っている」とお答えになっていらっしゃいません。酷いのは20代の若者であります。これは逆に「全く聞いたこともない」、「全く知らない」と答えた人が68%です。10人中7人は知らない。女性にいたっては82%が「知らない」、「聞いたことがない」ということです。私たちはロータリアンという誇りとプライドがありますから、「ロータリーっていいで」となかなか言いにくいという点も私たちの一つのステータスではあるかも知れませんが、やっぱり知っていただかないことにはですね、ロータリーが何をしていて、ロータリアンがどのような素晴らしい人の集まりかということが分かってもらえない。特にこれから日本を担ってもらう若者にロータリーというものに興味をもっていただいて、そういったロータリーの事業に参画していただくためにも、是非とも若者を中心に公共イメージの向上を皆さんをお願いしたいと思います。このバッジですが、これをいつも付けていただきたいと思えます。もちろんスーツを着ている時でもそうでない時でも、この歯車のバッジを付けていただいて、誰かが「この歯車みたいなバッジは何？」と聞かれたら、「これはロータリークラブのバッジ

です」と、「ロータリークラブというのはちょっと聞いてくれる？」から入ってPRをしていただきたいと思います。三番目は非常に難しい概念なのですが、DEIという概念。多様性と公平性とインクルージョン、多様性はdiversityですね、公平性はEquity、inclusionは包摂性とか少し難しい言葉になります。結局、いろんな人の価値観を互いに認め合いましょうということでもあります。ともすれば、ロータリーはロータリーだからと、あなたのような価値観をお持ちの方とお付き合いはできませんとか、昔は、「女性はロータリーに入ることが相応しくない」とか、「こんな若造はロータリーは無理だ」とか、そんなものがあった、それはすなわちひっくり返すとステイタスになっていた、ブランドが上がっていたかも知れませんが、それは腹として、女性蔑視ではないですよ、ロータリーとは凄いものだという腹はもっていただきたいのです。だからといって相手を否定することはしない。自分の考え方はそれとして価値観はしっかり持たないとフラフラしちゃうので、しっかりと自分の価値観には忠義を尽くすのだけれども、相手に対する思いやり、「そういう考え方もいいですね」というようにです。そしてそこに接点があれば「手に手を取り合って行動しましょう」というのがDEIだということに私は思います。これからは時代も変わってきますし、少子化になります。DEIというのは難しい概念ではありますが、しっかりと落とし込んでいただいている方たちとの交流、会員増強をお願いしたいと思います。最後にこれはもう言う必要もないと思います。先ほど奈良大宮ロータリークラブの方も自信をもって「いいクラブです」とおっしゃっていました。奈良東ロータリークラブの方々とは後ほどお話ししますが、心地よいクラブを作ってくださいということです。心地が良いというのは辞めたくないクラブです。辞めるのが惜しいクラブです。「入っているけどちょっと面白くないしクラブ辞めよう」、そんなクラブでは困るわけです。「入っていてよかった」。「1年経って本当にこのクラブに入って成長できた」、「もっと頑張ろう」。そんなに前向きじゃなくとも、「こんなにいい人がいるのだから辞めるのが惜しい」。そのような心地よいクラブ。どんどん人が入ってくるクラブも大事ですが、「誰も辞めないクラブを作りましょう」ということをジェニファー E. ジョーンズさんはおっしゃっています。心地よいクラブとは何か？辞める人はなぜ辞めるのか？そこをきっちり抑えていただいて誰も辞めない心地よいクラブを作っていただきたいということでもあります。以上4つがテーマと、RIの皆様をお願いをしたい目標をお話しさせていただきました。時間がないので最後は簡単にですが地区の方針を申し上げたいと思います。今回、私はスローガンを『感動、感激、そして感謝』と申し上げました。なぜそうなったかと申し上げますと、やはり公式訪問20回、今日を合わせて21クラブ、今日は22クラブまでになりますけれども、この3年間、「コロナで本当に事業が上手くいかなかった」「例会すらままならなかった」。その結果、ロータリアン同士の絆が薄くなって、細くなって、失われて、それが原因でお辞めになる方もいました。もうこれ以上、「絆を少なくすることはできない」、「もっと絆を太くしたい」、「深くしたい」とおっしゃる会長さんが全てでありました。馬場直前ガバナーがおっしゃったようにコロナ過で沈滞したクラブを何とかして、活力と輝きを取り戻す。これが私が今年度に目標とさせていただいた最大の事でもあります。「もうコロナは無いだろう」と、「いよいよリアルやで」と思っていた矢先にこのようなコロナが再び第7波で凄い勢いで増えていますので少し私の方針も揺らぎつつありますが、それでも本質はこれまで本当にひどいことになっていたロータリーの活力と輝きを取り戻すという点は変わりません。そしてその原点は例会にあると思います。もちろん望むべきはリアルの例会。対面ができるこのような形の例会が一番良いとは思いますが、状況によってはそれが出来ないかもしれない。谷川会長はおっしゃいました。「その時はオンラインを使いましょうよ」と。オンラインとリアルとバーチャルでやって、一回たりとも例会が休会にならないように、休会になるということは絆が薄れることなのだから、それを徹底的にやりましょうとおっしゃった。その通りだと思います。できれば対面、そして例会をベースにですね、それを原動力にお互いの絆を深めていただいて、その流れのなかで奉仕事業を全員でやっていただく。「どこかの委員会がやってはる」、「自分は関係ないねん」とそうじゃなくて、何か一つの事業をされたら皆がそこに何らかの関わり合いをもっていただく、もちろん主となられるのはその委員会かも知れませんが、僅かでもその委員会の事業に自分も参画できる。チラシ一枚の構成でもする。なにか文章を書くくらいは会社にしながらもできるはずですよ。そういった形で何らかの事業に全員が関わって、そしてその事業が達成された時に全員が「あんたうまいことやって良かったな」ということでなく、「みんなやって良かったね」と、その時に必ず全員が「ありがとう」、「ごくろうさま」、「本当に助かったよ」と感謝で満ち溢れますよ。



この感謝で満ち溢れた時に必ず感動と感激が生まれると思います。ですから、今回の『感動、感激、そして感謝』というのは、そういった一丸となった事業、一丸となった皆さんの行動がお互いに必ず「ありがとう」という言葉を生み出すはずで、そうした時に感動、感謝で1年経って、6月頃に「本当にいい一年やったな」、「ロータリーに入っていてよかったな」となり、ロータリーはしばらく辞める気持ちはないと、代わりにエレクトには大変申し訳ないけれど、「エレクト、来年も頼むで」ということになって欲しいと思います。これが、地区の思いであります。その為に地区の皆様方に出来るだけの情報のご提供と、頼りないですけども出来るだけのサポートをさせていただきたいと思っております。奈良東ロータリークラブの浦島会長は地区委員長も兼ねていただいております。是非とも「よかったな」と喜び合い、そして来年はメルボルンで皆さんとお会いしたいと思います。つたない話でありましたけれども、そしてまた頼りないガバナーですけども一年間よろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。

お礼のことは（奈良東RC 浦島会長）



奈良東ロータリークラブ、会長の浦島睦でございます。本日はありがとうございます。本日は尾賀康裕ガバナー、ガバナー補佐武藤廣茂様、地区幹事長田中勝様、ご臨席いただきまして誠にありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

さて、ガバナーにおかれましては、今しがた素晴らしいガバナーアドレスをいただき大変勉強になり今後の励みとなりました。RI会長のジェニファー・ジョーンズさんのテーマ、方針を深く受け止め、尾賀ガバナーが掲げられた地区スローガン「感動、感激、そして感謝」を胸に刻み、高潔性というロータリーの価値観を忘れることなく多様性、公平さ、包括性を略してDEI、そこに至る過程でクラブ、そして立ち位置を理解して、これからもロータリーを学び、そしてロータリーのイメージ向上に努めていくことを尾賀ガバナーにお約束いたします。そして、その結果がロータリー賞、そしてガバナー賞につながり、奈良大宮RC、奈良東RCの2クラブが受賞することで本日のガバナーへの恩返しになると考えま

す。尾賀ガバナー、田中幹事長におかれましては、ご多忙の日々が続くかと思っておりますがご健康にご留意され、これからもご活躍されますことを祈念しております。また、地区行事や地区大会、そしてメルボルン国際大会でお会いできますことを楽しみにしております。最後になりましたがホストクラブとして本日に至るまでのご準備と本日のご設営をいただきました奈良大宮RC谷川千代則会長をはじめ、野崎隆男幹事、そして奈良大宮RCの皆様へ感謝を申し上げます。皆様、本日は本当にありがとうございました。



閉会宣言
奈良東RC 和田幹事

ニコニコ箱

合計 145,000円 累計 370,000円

- 浦島 睦 様 (奈良東RC会長) 本日は尾賀康裕ガバナー合同公式訪問に御一緒させて頂き感謝致します。谷川会長始め皆様には大変お世話になります。どうぞよろしく願い申し上げます。
- 和田欣也 様 (奈良東RC幹事) 本日の合同例会よろしく御願います。
谷川千代則君 尾賀ガバナー、田中幹事長、奈良へお越しいただきありがとうございます。本日はご指導よろしく願いいたします。
- 野崎隆男 君 尾賀ガバナー、武藤ガバナー補佐、田中幹事長、お越しいただきありがとうございます。
- 北河原公敬君 尾賀ガバナー、田中幹事長、ようこそご来訪下さいました。心よりご歓迎申し上げますと共に、ご指導の程よろしく願い致します。公式訪問が予定通り進みますようお祈り致します。
- 飯田二昭 君 尾賀ガバナーの公式訪問を歓迎して。御指導よろしく願い申し上げます。
- 石野捨男 君 連続欠席のお詫び
植村将史 君 ようこそ尾賀ガバナー、本日はよろしく御願います。
潮田悦男 君 尾賀ガバナー、奈良大宮、奈良東ロータリークラブ合同例会にようこそ。よろしく御指導下さい。
- 金星 昇 君 先日は米寿のお祝いありがとうございました。
倉田智史 君 尾賀ガバナー、公式訪問ありがとうございます。本日は、どうぞ宜しく願い致します。
- 多田 実 君 尾賀ガバナーようこそいらっしゃいました。ガバナーアドレス楽しみにしております。
- 中條章夫 君 尾賀ガバナー、本日はガバナー公式訪問ありがとうございます。
ニコニコ
- 中奥雅巳 君 尾賀ガバナー、奈良東ロータリークラブの皆様、本日はよろしく御願致します。
- 中寫 大 君 尾賀ガバナー、ようこそおいで下さいました。御指導よろしく御願致します。
- 藤井正勝 君 尾賀ガバナーをお迎えして。
平野貞治 君 尾賀ガバナーのご訪問を心から歓迎申し上げます。
堀内眞治 君 尾賀ガバナー、武藤ガバナー補佐、田中幹事長、本日はよろしく御願致します。
- 宮西正伸 君 尾賀ガバナー、本日は有り難うございます。
ニコニコ協力 井口善弘 君 稲田正剛 君 岡崎真人 君 清岡義教 君
國原正記 君 河野里志 君 志茂志津代君 城田真平 君
鈴木 譲 君 塚本 勝 君 富川 悟 君 野末勝宏 君
増井義久 君 宮坂勝紀 君 森山斗福 君 山口尚紀 君
弓場裕史 君

◆例会変更・休会のお知らせ◆

- <奈良ロータリークラブ>
・8月11日 (木) 休会 定款第7条第1節d適用 ※ビジター受付は行いません。
- <橿原ロータリークラブ>
・8月12日 (金) 休会 定款第8条1-C適用 ※ビジター受付は行いません。
・8月26日 (金) 納涼例会の為、時間・場所 変更
※ビジター受付は当日12:00~12:30まで、THE KASHIHARAフロント横にて行います。

今後の予定

- ・8月 9日 (火) 卓話 公益財団法人大和文華館学芸部課長 瀧朝子氏
タイトル: 「美術に読み取る祥瑞と吉祥の動物」
- ・8月16日 (火) 休会 (お盆休み)